

## 前回検討会における財政収支見通しの検証について

### 【市・町村】

#### (収支見通しと実績の推移)

前回検討会における収支見通しと実績の推移は、次のようになっている。

※収入、支出とも実績の19年度までは決算値、20～23年度は共済会による見込みに基づく試算である。

#### (収入)

(単位：億円)

年 度	19	20	21	22	23
見込み	577	610	617	625	636
実 績	524	533	519	509	501
差 額	▲53	▲77	▲98	▲116	▲135

19～23年度差額計 ▲479億円

#### (支出)

(単位：億円)

年 度	19	20	21	22	23
見込み	714	694	683	690	722
実 績	708	666	660	654	680
差 額	▲6	▲28	▲23	▲35	▲42

19～23年度差額計 ▲134億円

#### (収支差額)

(単位：億円)

年 度	19	20	21	22	23
見込み	▲137	▲84	▲66	▲65	▲86
実 績	▲184	▲133	▲141	▲145	▲179
差 額	▲47	▲50	▲75	▲80	▲93

19～23年度差額計 ▲344億円

収支差額の見込みと実績の差額合計（19～23年度）に対して、  
 収入に係る差額は139.0%の悪化要因  
 支出に係る差額は 39.0%の改善要因  
 となったと試算される。

(収入の見込みと実績の差額の要因分析)

収入の見込みと実績の差額合計（19～23年度）のうち、  
会員数に係る見込みと実績の差による影響は63.8%  
平均標準報酬月額に係る見込みと実績の差による影響は36.2%  
と試算される。

【都道府県】

(収支見通しと実績の推移)

前回検討会における収支見通しと実績の推移は、次のようになっている。

※収入、支出とも実績の19年度までは決算値、20～23年度は共済会による見込みに基づく試算である。

(収入)

(単位：億円)

年 度	19	20	21	22	23
見込み	57	56	56	55	60
実 績	54	52	51	50	50
差 額	▲3	▲4	▲5	▲5	▲9

19～23年度差額計 ▲27億円

(支出)

(単位：億円)

年 度	19	20	21	22	23
見込み	60	55	55	56	61
実 績	61	55	55	55	63
差 額	0.2	▲0.7	▲0.1	▲0.8	2

19～23年度差額計 1億円

(収支差額)

(単位：億円)

年 度	19	20	21	22	23
見込み	▲4	1	0.5	▲0.4	▲2
実 績	▲7	▲3	▲4	▲5	▲13
差 額	▲3	▲4	▲5	▲4	▲12

19～23年度差額計 ▲28億円

収支差額の見込みと実績の差額合計（17～23年度）に対して、  
 収入に係る差額は96.4%の悪化要因  
 支出に係る差額は3.6%の悪化要因  
 となったと試算される。

(収入の見込みと実績の差額の要因分析)

収入の見込みと実績の差額合計（19～23年度）のうち、  
会員数に係る見込みと実績の差による影響は41.1%  
平均標準報酬月額に係る見込みと実績の差による影響は58.9%  
と試算される。